

## 7 前計画（第2次札幌新まちづくり計画）の実施状況

### I 実施状況の概要

#### 1 計画事業費の執行状況

計画事業費総額4,516億円に対する平成22年度決算ベースによる事業費の執行率は95.3%となっています。

#### 政策目標ごとの事業費の執行状況一覧

(単位:百万円)

政策目標	計 画	執行状況	執行率
1 子どもを生み育てやすく、健やかにはぐくむ街	12,402	15,064	121.5%
2 主体的な活動が生まれ、経済の活力みなぎる街	336,197	321,870	95.7%
3 高齢者・障がい者へのぬくもりあふれる街	16,290	16,553	101.6%
4 安全・安心で、人と環境にやさしい街	51,148	43,830	85.7%
5 文化の薫る、都市の魅力が輝き、にぎわう街	48,617	44,702	91.9%
合 計	451,600	430,354	95.3%

注：計画事業のうち、複数の政策目標に該当するものは重複して計上しているため、事業費の合計欄の数値は、各政策目標を合計した数値と一致しない。また、事柄のみ計画化とした事業については実績額に含まない。

#### 2 成果指標の状況

まちづくりを担う市民・企業・行政などの共通目標を、数値を用いて分かりやすく示すため、前計画である札幌新まちづくり計画に引き続き、66項目の成果指標を導入しました。

この66項目のうち、計画策定時点よりも上昇を示した成果指標は50項目あり、うち目標値に到達した成果指標は27項目ありました。また、計画策定時よりも上昇しなかった項目は14項目ありました。

目標値に到達しなかった要因としては、成果指標には行政の活動のみならず、さまざまな要因からの影響を受けながら数値として現れてくるものがあることや、目標達成への取り組みを促すことを目的として、努力目標的な意味合いも込めて高い目標値を設定しているものがあることなどが挙げられます。

なお、残りの2項目について、国が実施していた調査項目から除外された等により測定ができませんでした。

それぞれの成果指標の結果については、「Ⅲ 成果指標の状況」に示します。

#### 成果指標の状況

状 況	項目数	割 合
計画策定時よりも上昇	50	75.7%
うち 目標値に到達	27	40.9%
計画策定時よりも上昇せず	14	21.2%
測定不能	2	3.1%
合 計	66	100%

### 3 達成目標の状況

計画期間内における全計画事業の進捗を分かりやすく示すため、全275事業に対して348項目の達成目標を導入しました。

348項目のうち、計画期間内に目標を達成した項目は246項目、未達成になった項目は102項目ありましたが、目標に到達しなかった項目のうち、25項目は目標値にわずかに満たなかったものの、ほぼ達成したものでした。

未達成となった主な要因は、関係機関等との協議に時間を要するため、計画期間内に実施できなかったものや、目標達成への取り組みを促すことを目的として、努力目標的な意味合いも含めて高い目標値が設定されていたものなどが挙げられます。

なお、残りの4項目について、数値公表が取りやめとなったことなどにより測定ができませんでした。

それぞれの達成目標の状況については、「Ⅱ 重点課題別実施状況」に示します。

#### 達成目標の状況

状 況	項目数	割 合
計画期間内に達成	246	70.7%
うち 目標年度に達成	231	66.4%
計画期間内には未達成	98	28.1%
測定不能	4	1.2%
合 計	348	100%

### 4 主な施設、サービス水準の状況

前計画では、計画事業量に対応した主な施設やサービス水準の目標として、計画終了時点での「主な施設、サービス水準」を36項目決めました。

この36項目のうち、目標を達成した項目は31項目ありました。

達成しなかった要因は、学校の空き教室への設置予定していたものの予定校に空き教室が確保できなかったものや、事業者ニーズと合わなかったため事業が終了となったものなどです。

それぞれの主な施設、サービス水準の状況については、「Ⅳ 主な施設、サービス水準の状況」に示します。

#### 主な施設、サービス水準の状況

状 況	項目数	割 合
計画期間内に達成	31	86.1%
計画期間内には未達成	5	13.9%
合 計	36	100%

## II 重点課題別実施状況

### 政策目標 1 子どもを生き育てやすく、健やかにはぐくむ街

#### ○重点課題 1 子どもを生き育てやすい環境づくり

##### 施策の基本方針

子どもを安心して生き育てることができるまちづくりを目指し、さまざまな市民の知恵や経験を活かした地域での子育て支援体制や、母子の保健・医療の取り組みを充実させます。また、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現を進める企業に対しての支援や、保育サービスの充実など、子育てと仕事の両立を支援する取り組みを推進します。

##### 重点課題における今後の展開（課題）

保育所利用希望者の急激な増加や多様化する保育ニーズに対応するため、認可保育所の定員の拡大や家庭的保育などの新たな保育サービスを充実させていく必要があります。

子育て家庭の孤立化防止や子育てに関する不安の軽減を図るため、地域における子育て支援の取り組みのさらなる充実を図る必要があります。

##### 達成目標の状況

項目	現状値(18年度)	実績値(22年度)	目標値(22年度)
〔ワーク・ライフ・バランス〕認証取得企業数(累計)	—	258社	250社
保育所定員数	16,730人 (H19.4.1)	19,008人 (H23.4.1)	17,750人 (H23.4.1)
延長保育実施施設数	146カ所	175カ所	172カ所(21年度)
一時保育実施施設数	63カ所	92カ所	83カ所(21年度)
休日保育実施施設数	1カ所	3カ所	3カ所
乳幼児健康支援サービス(現名称:病後児サービス)実施施設数	4カ所	5カ所(19年度)	5カ所(19年度)
ミニ児童会館数	40館	68館	70館
放課後子どもプラン事業計画の策定	—	策定(20年度)	策定(19年度)
〔児童クラブなど〕障がいのある子どもがいる場合の指導員配置や助成額の充実(障がいのある児童の登録数)	2人以上	1人以上(19年度)	1人以上(19年度)
妊婦一般健康診査公費負担の利用回数	1回	14回	5回(19年度)

項 目	現状値(18年度)	実績値(22年度)	目標値(22年度)
小学校就学前までの子どもの医療費を原則無料化	4歳以上の課税世帯の通院医療費1割負担	就学前までの子どもの医療費をすべて原則無料化 小学生の入院医療費を対象(20年度)	就学前までの子どもの医療費をすべて原則無料化(20年度)
新生児訪問実施率	62.2%(17年度) 63.5%(18年度)	94.0%	100%
特定不妊治療費助成事業の助成金交付件数	381件	1,112件	602件
食育サポーター登録者数(累計)	—	2,268人	600人
子育てサロンが開催されている地域の割合(小学校区)	86%	92%	100%(21年度)
サンデーサロン実施施設数	—	6カ所	5カ所
出前相談実施区数	—	10区(20年度)	10区(20年度)
区保育・子育て支援センター設置数(累計)	3カ所	6カ所	6カ所
(仮称)市立認定こども園の開園	—	開園(21年度)	開園(21年度)
企業との連携事業実施回数	—	年12回	年5回
〔企業・団体と連携〕絵本寄贈数(累計)	—	1,638冊	1,000冊
〔さっぽろ市民子育て支援宣言〕宣言者数(累計)	—	個人14,797人 団体191、企業29	1万人
バリアフリー公園数(累計)	2カ所	4カ所	4カ所
〔福祉と多世代のふれあい公園づくり〕 乳幼児キッズコーナー数(累計)	—	9カ所	10カ所
〔特定優良賃貸住宅〕子育て世帯の入居戸数	111世帯	237世帯	221世帯

## 政策目標 1 子どもを生き育てやすく、健やかにはぐくむ街

### ○重点課題 2 未来を担う子どもが健やかに育つ環境の充実

#### 施策の基本方針

札幌の明日を担う子どもたちが、未来に夢を持ち、個性や能力を発揮し、心身ともに健やかに育つ環境づくりを進めるため、自ら考える力や思いやりと豊かな心をはぐくむ取り組みを実施します。また、子どもの相談体制の強化や学びの意欲を育てるなど、のびのびと成長・発達していける教育環境の充実を、学校、家庭、地域社会がそれぞれの役割を果たしながら連携して推進します。

#### 重点課題における今後の展開（課題）

「いじめ・不登校対策」について、社会とつながりの持てる支援体制を構築する必要があります。また、児童虐待の相談件数が依然として高水準であることから、児童相談体制や社会的養護体制のさらなる強化を図る必要があります。

#### 達成目標の状況

項目	現状値(18年度)	実績値(22年度)	目標値(22年度)
リサイクル堆肥を使用して栽培した作物の提供校数	2校	全小中学校 (305校)	全小中学校
教職員以外からの学校評価を実施している小中学校の割合	75%	100%	100%
中学校における職場体験の実施校率	51%	99%	100%
ALT配置人数	43人	58人	58人
家庭教育学級数	206学級	201学級	214学級
学校図書館地域開放校数(小・中学校)	87校	99校	99校
〔学校・地域連携〕事業実施校数	40校	60校	60校
(札幌市立大学)大学院設置	—	設置	設置
(札幌市立大学)民間企業等からの受託研究数の増	—	12件	15件
(仮称)市立認定こども園の開園	—	開園(21年度)	開園(21年度)
奨学金支給対象数	456人	1,307人	1,000人
(仮称)札幌市幼児教育センターの開設	—	開設(20年度)	開設(20年度)
市立札幌大通高等学校の開設	—	開設(20年度)	開設(20年度)
〔特色ある市立高校〕新たに導入した学科やコースなどの制度数(累計)	5制度	8制度	8制度

項目	現状値(18年度)	実績値(22年度)	目標値(22年度)
児童家庭支援センター設置数(累計)	2カ所	4カ所(22年度)	4カ所(21年度)
〔いじめ・不登校対策〕小学校の相談時間数	－	月4時間(20年度)	月4時間(20年度)
〔いじめ・不登校対策〕中学校の相談時間数	週6時間	週8時間(20年度)	週8時間(20年度)
〔児童クラブなど〕障がいのある子どもがいる場合の指導員配置や助成額の充実(障がいのある児童の登録数)	2人以上	1人以上(19年度)	1人以上(19年度)
特別支援学級設置率	43%	64%	55%
特別支援教育巡回相談員配置数	3人	10人(19年度)	10人(19年度)
特別支援教育支援員活用体制の構築	－	構築(20年度)	構築(20年度)
豊明高等養護学校の間口数	18間口	22間口	21間口
地域小規模児童養護施設設置数	－	1カ所	1カ所
〔アジア学生交流〕市民参加者数(当事業に参加した市民の数)	－	479人	500人
〔わたしたちの児童会館〕子ども運営委員会設置数(累計)	12館	全館(164館)	児童会館、ミニ児童会館全館
〔さっぽろ夢大陸「大志塾」〕参加人数	186人	224人	200人
〔こどものまち「ミニさっぽろ」〕参加人数	3,440人	3,403人	5,000人
〔子どもの美術体験〕参加児童数(累計)	－	12,019人	3,200人
〔子どもの映像制作体験〕参加者数(累計)	－	59人	50人
〔佐藤忠良関連施設〕施設開設	－	開設(20年度)	開設(20年度)
〔Kitaraファーストコンサート〕学校の参加率	94.2%	96.8%	95.0%以上
林間学校参加者の親から見た子どもたちの成長度合い(5点満点)	3.58	3.60	4.00
〔青少年科学館〕入場者数	292,854人	358,112人	352,000人
〔児童会館の中・高校生〕夜間利用実施館数	20館	103館	104館
ミニ児童会館数	40館	68館	70館
放課後子どもプラン事業計画の策定	－	策定(20年度)	策定(19年度)
子どもの権利条例の制定	－	制定(20年度)	制定(20年度)

## 政策目標2 主体的な活動が生まれ、経済の活力みなぎる街

### ○重点課題 1 市民の主体的な地域づくりの支援

#### 施策の基本方針

札幌市自治基本条例の下、市民が主体的に考え、行動できる街を目指し、まちづくりセンターを拠点として、まちづくり活動の機会の充実や、まちづくりに必要な情報の積極的な提供、まちづくり活動を行う団体間の連携の促進などを行うとともに、町内会活動やボランティア活動などの市民活動を一層応援し、市民が主役のまちづくりを進めます。また、市民自治の実践として、まちづくりセンターの地域による自主運営化や雪対策の推進など、市民の主体的な活力あふれる地域づくりを支援します。

#### 重点課題における今後の展開（課題）

市民による主体的な活動をさらに活性化していくためには、新たな担い手の発掘・育成に加え、地域の方が活動できる場の整備を進めていく必要があります。また、地域の方が安心してまちづくりセンターの自主運営化に踏み込むことができるよう、環境整備を進めていく必要があります。

#### 達成目標の状況

項目	現状値(18年度)	実績値(22年度)	目標値(22年度)
地域自主運営化したまちづくりセンター数(累計)	—	8カ所	10カ所
〔郊外住宅地等の〕地区計画の決定、変更数	—	3地区	3地区
地域まちなみづくり推進制度の策定	検討	検討	策定(21年度)
〔地域と創る冬みち事業〕参加町内会数	186町内会	565町内会	560町内会
市民による砂まきの割合の増加	57%	66%	70%
企業名入り砂箱の設置数	79基	129基	160基
区民協議会の設置区数(累計)	3区	10区	10区
大学連携ネットワーク会議の設置	—	設置(22年度)	設置(20年度)
〔大学・地域連携〕学生プレゼンテーション大会開催数(累計)	1回	5回	5回
市民まちづくり活動促進条例制定	検討	制定(19年度)	制定(19年度)
市民まちづくり活動促進基金設置	検討	設置(20年度)	設置(20年度)
新中心市街地活性化基本計画の策定	検討	認定調整	策定(20年度)

項目	現状値(18年度)	実績値(22年度)	目標値(22年度)
大通・駅前通地区まちづくり計画の策定	－	検討	検討
「まち本」等活用講座受講者数	127人	2,854人	500人
里塚・美しが丘地区センター開設	－	開設(20年度)	開設(20年度)
まちづくり参加入門教室の開催数	－	20回(1区2回) (21年度)	20回(1区2回) (21年度)
子どものまちづくり体験事業の実施回数	－	23回	10回(1区1回) (20年度)
〔さっぽろ元気NPOサポートローン〕融資件数(累計)	29件	53件	70件
札幌市アイヌ施策推進計画の策定	－	策定(22年度)	策定(21年度)
地区福祉のまち推進センター拠点設置数	58地区	63地区	74地区
福祉推進員数	6,170人	6,262人	6,600人
〔児童会館〕子ども運営委員会設置数	12館	全館(164館)	児童会館、ミニ児童 会館全館
〔さっぽろ市民カレッジ〕講座受講者数	3,520人	4,319人	4,200人



## 政策目標2 主体的な活動が生まれ、経済の活力みなぎる街

### ○重点課題2 札幌の経済を支える企業・人の支援

#### 施策の基本方針

足腰の強い経済の活力みなぎる都市を目指し、地域の事業者を支援する「元気がんばれ資金」の創設や経営相談の実施、地元企業に対する国内外への販路拡大の支援や製造業の高付加価値化の促進など、札幌を支える産業を支援します。また、起業を目指す市民を対象としたさまざまな支援、若者、女性、中高年などに対する雇用機会の創出や就労支援に取り組むとともに、労働に関する問題解決の支援を行い、安心して働ける環境づくりを推進します。

#### 重点課題における今後の展開（課題）

創業や新たな事業に挑戦する市民や中小企業について、引き続き支援を継続していく必要があります。また、厳しい雇用状況が続く中、安心して働ける環境づくりを推進するため、雇用を創り出すとともに、若年層への就業支援などの取り組みを推進する必要があります。

#### 達成目標の状況

項目	現状値(18年度)	実績値(22年度)	目標値(22年度)
〔元気がんばれ資金〕新規融資額	－	0.9億円/年	9億円/年
〔元気がんばれ資金〕新規融資件数	－	19件/年	300件/年
〔中小企業金融対策資金〕新規融資額	1,094.7億円/年	1,134億円/年	1,100億円/年
〔中小企業金融対策資金〕新規融資件数	8,579件/年	9,273件/年	8,600件/年
〔中小企業ネットワーク〕賢人会議開催回数	－	2回/年	3回/年
〔アジア圏等経済交流促進事業〕商談会への延べ参加企業数	156社	251社	230社
〔国内販路拡大支援事業〕展示会出展企業数	10社	20社	20社
就業サポートセンター等の利用者数	91,657人	122,750人	100,000人
再就職支援セミナーの受講者数	867人	1,553人	1,300人
〔若年層に対する各種就業支援事業等〕受講者数	596人	418人	1,000人
〔若年層に対する就業支援事業受講者〕就業率	－	41.6%	30%
〔雇用創出事業による〕就職者数(累計)	944人	3,770人	3,000人
団塊の世代、女性に特化した起業セミナーの開催回数(累計)	2回	51回	26回
〔ベンチャー支援事業〕支援対象件数(累計)	12社	28社	26社
〔新製品開発・既製品改良〕補助件数(累計)	－	30件	16件
〔コミュニティ型建設業創出事業〕業務受注金額	33,546千円	277,158千円	70,000千円

## 政策目標2 主体的な活動が生まれ、経済の活力みなぎる街

### ○重点課題3 札幌らしい新産業の育成と企業の誘致

#### 施策の基本方針

さっぽろのブランド力をさらに向上させるため、札幌市立大学をはじめとした研究機関が持つ知の資産と産業を結び、デザインやバイオの分野などで札幌らしい特色ある新産業を育成し、スイーツなどの食品関連産業とともに国内外に発信します。また、平成27年までにIT・コンテンツ産業売上高1兆円を目指し、人材・企業を育成し、映像を中心としたコンテンツ分野の取引の拡大を図るとともに、IT関連企業などを積極的に誘致します。

#### 重点課題における今後の展開（課題）

経済の活性化を図るためには、道内市町村との連携を一層深めながら、食の高付加価値化など、札幌市経済の成長を牽引する分野の産業振興を進めるとともに、成長発展が見込まれる産業の立地を促進していく必要があります。

#### 達成目標の状況

項目	現状値(18年度)	実績値(22年度)	目標値(22年度)
〔都心部における北海道の魅力発信拠点〕来場者数	－	574,079人	10万人
〔都心部における北海道の魅力発信拠点〕道内各地域からの出展者数	－	68件	50件
スイーツ王国さっぽろ推進協議会への参画会員数	85社	155社	170社
「食のまち」札幌発信拠点の整備	－	整備(21年度)	整備
スイーツマルシェ出展数	20店	13店	25店
スイーツマルシェ集客数	350人	319人	500人
〔札幌スタイル〕認証製品数(累計)	56件	141件	100件
販路拡大支援事業への首都圏参加企業数	94社	91社	200社
〔札幌市東京事務所内〕ビジネスラウンジ利用者数	323人	328人	500人
ビジネスマッチングの来場者数	427人	961人	800人
民間創造都市推進組織の設置	－	設置	設置
IPビジネス研究会への参加企業数	－	35社	50社
取引可能な映像作品等の集積本数(累計)	1,500本	12,011本	10,000本
ロケーション(延べ)撮影日数	236日	1,428日	500日
〔高度情報通信人材育成・活用事業による〕市内IT企業への就業者数	72人	11人	100人
〔新産業育成推進事業〕補助金交付件数(累計)	2件	13件	10件
北海道大学特許出願数	271件	251件	400件
〔さっぽろバイオクラスター構想推進事業による〕クラスター形成数	－	39社	50社
〔企業誘致促進事業による〕誘致企業数(累計)	－	15社	15社
〔雇用創出型ニュービジネス立地促進事業による〕事業所開設数(累計)	39社	58社	60社

## 政策目標3 高齢者・障がい者へのめくもりあふれる街

### ○重点課題1 高齢者の地域生活支援の充実

#### 施策の基本方針

平成23年頃には65歳以上の高齢者が21%を超える超高齢社会を迎えると予測される中、高齢者が安心して健やかに地域生活を送れるよう、夜間対応型の訪問介護サービスなど高齢者への介護・保健福祉サービスの充実を図るとともに、多様な価値観を持つ高齢者が生きがいを持てるよう、さまざまな社会参加の機会を拡充します。

#### 重点課題における今後の展開（課題）

人口に占める高齢者の割合が年々高まっている中、高齢者が安心して地域生活を送ることができるよう引き続き必要な支援を行っていく必要があります。また、多様な価値観を持つ高齢者が生きがいを持って地域生活を送ることができるよう、高齢者の社会参加の機会の拡充や社会貢献活動に対する支援を進めていく必要があります。

#### 達成目標の状況

項目	現状値(18年度)	実績値(22年度)	目標値(22年度)
地区福祉のまち推進センター拠点設置数(累計)	58地区	63地区	74地区
福祉推進員数(累計)	6,170人	6,262人	6,600人
〔福祉除雪〕利用世帯の満足度	90.2%	96.1%	90%以上
〔福祉除雪〕地域協力員の満足度	90.8%	95.4%	90%以上
シニアサロンモデル事業設置数(累計)	6カ所	11カ所	20カ所
シニアチャレンジ事業実施団体数(累計)	8団体	17団体	50団体
ねんりんピック北海道・札幌 2009の開催	開催準備	開催(21年度)	開催(21年度)
敬老優待乗車証の利用限度額	5万円	7万円(21年度)	7万円(21年度)
消費生活みまもり協力員の配置区数	—	10区(20年度)	10区(20年度)
〔高齢者、障がい者の生活あんしん支援〕総合的な相談窓口の設置	検討	設置(20年度)	設置(20年度)
社会福祉協議会の法人後見事業の実施	検討	実施(20年度)	実施(20年度)
〔さっぽろ孤立死ゼロ〕市民啓発に出向いた回数(参加人数 累計)	12回(360人)	105回(5,159人)	84回(2,520人)

項目	現状値(18年度)	実績値(22年度)	目標値(22年度)
認知症サポーター養成数(累計)	1,862人	17,227人	9,000人
高齢者向け優良賃貸住宅の認定戸数	147戸	197戸	347戸
借上市営住宅の認定戸数	894戸	1,178戸	1,298戸
地域における要援護者への体制づくり	－	一部の地区での取り組み	全地区での取り組み
地域包括支援センター設置数(累計)	17カ所	21カ所	21カ所
一般高齢者の介護予防事業の開催回数	2,645回	2,952回	2,645回
特定高齢者の運動能力向上トレーニング事業、筋力向上トレーニング事業及び一般高齢者の転倒骨折予防事業への参加者数	1,702人	16,962人	2,400人
特定高齢者の運動能力向上トレーニング事業、筋力向上トレーニング事業及び一般高齢者の転倒骨折予防事業の開催回数	895回	2,167回	1,137回
〔夜間対応型訪問介護〕利用者数	－	143人/月	460人/月
地域密着型特別養護老人ホームの入所定員数	51人	281人	283人
〔若年性認知症支援〕交流会などへの当事者の参加者数	32人	70人	60人
高齢者ひとくち講座開設回数	－	195回(延べ)	180回以上(延べ)
口腔ケアに関する介護予防事業の実施回数	241回	132回	500回

## 政策目標3 高齢者・障がい者へのめくもりあふれる街

### ○重点課題2 障がい者の自立支援の促進

#### 施策の基本方針

障がいのある人々が、持てる能力を十分に発揮し、福祉サービスの支援を受けながら、自らの意思で地域の中で自立と社会参加の実現を図れるよう、障がい者グループホームをはじめとした居住環境の整備を進めます。また、障がいのある人を雇用する民間企業等への就労促進策を拡充するなど、自立支援の促進を図ります。

#### 重点課題における今後の展開（課題）

障がいのある人の自立を促進していくためには、サービス提供体制を一層充実するとともに、障がいのある人のニーズに対応したきめ細かな支援が必要になります。

また、障がいのある人を地域全体で支える体制の整備も非常に重要であることから、相談支援体制を一層充実し、これを核とする地域のネットワークづくりを推進していく必要があります。

#### 達成目標の状況

項目	現状値(18年度)	実績値(22年度)	目標値(22年度)
〔福祉除雪〕利用世帯の満足度	90.2%	96.1%	90%以上
〔福祉除雪〕地域協力員の満足度	90.8%	95.4%	90%以上
〔高齢者、障がい者の生活あんしん支援〕総合的な相談窓口の設置	検討	設置(20年度)	設置(20年度)
社会福祉協議会の法人後見事業の実施	検討	実施(20年度)	実施(20年度)
グループホーム等の箇所数(累計)	164カ所	293カ所	268カ所
障がい者相談支援事業実施箇所数	10カ所	16カ所	16カ所
住宅入居等支援事業実施箇所数	—	17カ所	7カ所
〔精神障がい者退院促進支援〕事業参加病院数(累計)	—	34病院	36病院
障がい児等療育支援事業実施箇所数(累計)	5カ所	6カ所	8カ所
高齢者向け優良賃貸住宅の認定戸数	147戸	197戸	347戸
借上市営住宅の認定戸数	894戸	1,178戸	1,298戸
〔障がい者雇用マッチング〕本事業により企業などに派遣される障がい者数	—	2人/日	5人/日

項目	現状値(18年度)	実績値(22年度)	目標値(22年度)
協働事業実施事業所数	3カ所	10カ所	10カ所
元気ショップ2号店の開設	－	開設	開設
障がい者地域活動支援センター(就労者支援型)設置箇所数	－	2カ所	1カ所
市各部局での障がい者施設などに対する発注量	－	測定不能	全発注量の1.8%
〔知的障がい者等を対象としたホームヘルパー養成〕 講座を受講した障がい者数(累計)	－	36人	25人
利用者5,000人/日以上>JR駅バリアフリー化(累計)	9駅	15駅	12駅
ノンステップバスの導入台数(累計)	51台	101台	75台
大通バスセンター耐震化	－	完了(21年度)	完了(21年度)
大通バスセンターバリアフリー化	－	検討	完了
エレベーター未設置の地区センター数	10カ所	7カ所	7カ所
優しさと思いやりのバリアフリーのルール策定	検討	策定	策定
地下鉄駅へのエレベーター等設置(累計)	43駅	47駅	47駅
〔ユニバーサルデザインの公園づくり〕身障者対応便所の 整備率(バリアフリー新法における22年度までの達成目標値)	20%	30%	30%
バリアフリー公園数(累計)	2カ所	4カ所	4カ所
〔福祉と多世代のふれあい公園づくり〕 乳幼児キッズコーナー数(累計)	－	9カ所	10カ所
〔芸術の森園路等〕バリアフリー化工事	－	園路改修のための 詳細設計	実施(20年度)
体育施設のバリアフリー化	3施設	3施設	6施設
〔誰もが歩きやすい歩行空間ネットワーク〕 重点整備地区バリアフリー化率	71%	94%	100%
あんしん歩行エリア等の形成数	9エリア	10エリア	12エリア
〔厚別副都心地区〕乗継動線のバリアフリー化	－	改修等工事	完了
〔地下鉄駅施設〕バリアフリー化されている駅数	22駅	49駅	49駅(全駅)

## 政策目標4 安全・安心で、人と環境にやさしい街

### ○重点課題1 水とみどりの保全・育成と創出

#### 施策の基本方針

みどり豊かな美しい風格ある街並みの実現や清らかな水環境の維持・回復を図るため、市民や企業との協働により、みどりの保全と創出を進めます。また、人間の活動による環境負荷の減少に努め、水辺の保全やせせらぎを回復する取り組みを推進します。

#### 重点課題における今後の展開（課題）

市民や企業との協働による、みどりの保全と創出について、地域の緑化活動への参加意識は横ばいで推移していることから、さらに市民意識を高める必要があります。

#### 達成目標の状況

項目	現状値(18年度)	実績値(22年度)	目標値(22年度)
都市環境林面積(累計)	1,665ha	1,697ha	1,678ha
一家庭一植樹運動推進事業による植樹本数(累計)	19,294本	61,392本	59,300本
市民植樹祭での植樹本数(累計)	56,350本	124,860本	100,350本
コミュニティガーデン設置数(累計)	—	37カ所	30カ所
花を活用した管理を行う道路残地箇所数(累計)	—	7カ所	10カ所
フラワーロードの延長、プランター(栽培容器)設置数	2,200m 130基	3,300m 230基	2,650m 230基
〔アマとホップのフラワーロード推進事業〕参加団体数	12団体	23団体	15団体
都心部における水とみどりの空間	—	1.82ha	1.9ha
白旗山の緑化	—	57,000m <sup>2</sup>	57,000m <sup>2</sup>
〔丘珠空港〕緑地整備の推進(告示供用面積)	4.1ha	25.2ha	10ha
〔東雁来第2土地区画整理地区内〕土地活用率(宅地建設など土地の利用が図られた割合)	19%	33%	30%
〔東雁来第2土地区画整理地区内〕公園・緑地面積	1.4ha	6.3ha	10.0ha
地域独自の水環境目標設定数(累計)	—	2件	3件
〔合流下水道改善における〕吐口対策実施済数(累計)	6カ所	23カ所	22カ所
豊平川貯留管の整備進捗率	—	21%	35%
雨水流出抑制に関する要綱等の策定	—	要綱等策定	策定
多自然川づくり整備延長	4.7km	5.4km	5.5km
公園緑地ボランティア登録団体数(累計)	31団体	59団体	50団体
〔公園緑地〕利活用促進のためのイベント等実施数	—	120回	100回
〔校庭への〕植樹実施校数(累計)	—	36校	30校
〔国際園芸博覧会〕開催誘致の是非決定	—	決定(21年度)	決定(20年度)

## 政策目標4 安全・安心で、人と環境にやさしい街

### ○重点課題2 地球環境問題への対応と循環型社会の構築

#### 施策の基本方針

「環境首都・札幌」を宣言し、地球温暖化対策の推進や循環型社会の構築を目指して、新エネルギーの活用やバイオディーゼル燃料の普及促進を通じた温室効果ガスの排出削減に取り組みます。また、市民・事業者・行政が一体となって、ごみの発生抑制、再利用、リサイクルの取り組みや、市民一人ひとりが省資源、省エネルギーのための環境行動を実践するまちづくりを推進します。

#### 重点課題における今後の展開（課題）

「環境首都・札幌」の実現のため、省エネ、新エネ機器のさらなる普及に向けて、市民・事業者のニーズを踏まえた支援などを継続する必要があります。また、東日本大震災を踏まえ、エネルギー転換が必要なことから、再生可能エネルギーの導入を重点的に進める必要があります。

ごみ減量については、新聞・雑誌・ダンボールの排出ルール変更を定着させる取り組みを進めるとともに、生ごみの減量、リサイクルの取り組みの推進が必要となっています。

#### 達成目標の状況

項目	現状値(18年度)	実績値(22年度)	目標値(22年度)
〔環境首都・札幌〕「さっぽろ地球環境憲章」の策定	－	策定(20年度)	策定(20年度)
〔世界冬の都市〕市長会議参加都市数	29都市(17年度)	18都市(21年度)	30都市
〔CO <sub>2</sub> 〕エコライフ行動レポートの集計に基づき試算されるCO <sub>2</sub> 排出削減量	－	59,208t	4万t
〔環境教育〕学校におけるエコライフ行動レポートの提出枚数(累計)	－	685,880枚	54万枚
環境配慮型事業者への支援プラン策定	－	策定(20年度)	策定(20年度)
〔落葉から環境保全と地域交流事業〕参加団体数(累計)	2団体	19団体	15団体
〔地球に優しいまちづくり〕計画期間中の環境活動への参加者数(19年度からの累計)	24,322人	57,965人 (H19~22累計)	36,500人 (H19~22累計)
〔環境保全型農業〕堆肥の散布量(累計)	－	870.3t	1,200t
〔北海道の野生動物復元〕オオワシ、シマフクロウの繁殖数	－	0羽	3羽
〔北海道の野生動物復元〕オオワシ、シマフクロウの放鳥数	－	0羽	3羽
〔円山動物園リニューアル〕基本計画の策定	－	策定(20年度)	策定(19年度)
建築物環境配慮制度に基づく総合環境性能評価の提出件数(累計)	－	170件	300件
札幌駅前通熱供給導管ビット整備	事業着手	完成	完成



項 目	現状値(18年度)	実績値(22年度)	目標値(22年度)
〔風力発電〕事業主体となる事業者の選定	－	選定(19年度)	選定(19年度)
〔下水熱有効利用〕西区民・保健センターにおける二酸化炭素排出削減量	－	前システムに比べ約50t削減	システム導入前に比べ50t削減
〔太陽光発電等設置〕学校への新エネルギー設備導入件数(累計)	7件	10件	10件
〔次世代エネルギーパーク〕構想を受けた整備計画の策定	－	計画策定(20年度)	策定(20年度)
協働による市内1,000kW規模の太陽光発電所の設置(上記のうち市有施設への率先導入)(累計)	－	1施設	1施設
〔ecoプロ〕新エネルギー設備等の新規融資額	－	2.5億円	10億円
〔公共施設省・新エネ導入〕指針に基づく省エネ・新エネ導入検討施設数(累計)	－	797カ所	4カ所
〔札幌市一般廃棄物処理基本〕計画の改定	－	改定(19年度)	改定(19年度)
〔家庭用〕廃食油回収拠点数	43カ所	285カ所	200カ所
〔家庭用〕廃食油回収量	1,200ℓ/月	10,200ℓ/月	7,000ℓ/月
「さっぽろスリムネット」によるごみ減量実践活動への参加者数	7,049人	5,215人	20,000人
〔定山溪地区生ごみ堆肥化推進事業〕参加事業者の生ごみ分別量	1.6t/日	1.7t/日	3.2t/日
リユース広場(リユースプラザ)で市民に提供した家具等の個数	965個(白石)	1,892個(厚別)	1,200個
〔中規模事業所〕ごみ減量・処理報告書の提出義務づけ対象拡大	－	一部実施(20年度)	実施(19年度)
〔紙、プラスチック類、草木類廃棄物〕排出状況調査	－	実施(21年度)	実施(20年度)
〔焼却灰のセメント原料への再利用〕事業実現性評価	－	実施	実施

## 政策目標4 安全・安心で、人と環境にやさしい街

### ○重点課題3 日常の身近な暮らしの安心の確保

#### 施策の基本方針

安全で安心な日常の暮らしを確保し、充実した市民生活を実現するため、地域と協働し、防火・防犯に取り組むまちづくり活動の支援を行います。また、「地域の安全は地域で守る」ことを基本とする「(仮称)犯罪のない安全で安心なまちづくり条例」を制定するなど、安全で安心して暮らせる社会の実現を推進します。

#### 重点課題における今後の展開(課題)

地域と協働で行う防火・防犯活動においては、地域の団体等や関係機関と連携しながら施策を着実に実施する必要があります。そのためには、より効果的な市民への普及啓発に努めるとともに、事業の実施において地域との連携を深め、「地域の安全は地域で守る」ことができるよう進めていくことが重要です。

#### 達成目標の状況

項目	現状値(18年度)	実績値(22年度)	目標値(22年度)
「教えて!ファイヤーマン」事業の実施校数	要望する 全小学校(203校)	要望する 全小学校(201校)	要望する全小学校
(仮称)犯罪のない安全で安心なまちづくり条例の制定	—	制定(20年度)	制定(20年度)
スクールガードリーダー数	39人	50人	50人
区内で地域安全マップが作成されている小学校区数(累計)	—	12校区	8校区(29校区中)
(サイクリングロードのトンネル内)アート壁面(累計)	1面	5面	5面
(仮称)地域安全会議等及びセミナーの開催回数(累計)	—	10回	7回 (19~22年度累計)
簡易型災害図上訓練等の開催回数(累計)	3回	15回	12回 (19~22年度累計)
(病原体の取扱施設として)実験室整備	他施設の調査	整備(20年度)	整備(20年度)
アスベスト含有調査件数(累計)	—	15件	30件
アスベスト除去等工事件数(累計)	—	9件	24件
さっぽろとれたてっこ認証取得農家数	100戸(19年現状)	155戸	140戸
さっぽろとれたてっこ協力店舗数	30店舗(19年現状)	35店舗	60店舗
(地下鉄東西線)可動式ホーム柵の設置駅数	—	19駅(20年度)	19駅(20年度)
消防力の充実	—	推進	推進
救急隊数(累計)	30隊	31隊(19年度)	31隊(19年度)
位置情報通知システムの導入	—	導入(19年度)	導入(19年度)
気管挿管可能救急救命士数	36人	80人	92人
薬剤投与可能救急救命士数	81人	229人	183人

## 政策目標4 安全・安心で、人と環境にやさしい街

### ○重点課題4 災害に強い安全なまちの整備

#### 施策の基本方針

阪神・淡路大震災に代表される都市型大規模地震、集中豪雨や台風による大規模な洪水・土砂災害などから、市民生活の安全・安心を守るため、自主防災活動の充実を通して地域の防災力を高めます。また、被災時の避難場所や応急活動の拠点となる公共施設の計画的な耐震改修や、災害時の非常通信を確保する防災行政無線の整備など、地域住民等と行政との協働による計画的な災害対策を講じ、災害に強い都市づくりを推進します。

#### 重点課題における今後の展開（課題）

東日本大震災の被害状況等を踏まえ、札幌市の防災体制のあり方を見直し、耐震補強などハード面の整備や備蓄物資の適正な配置など災害対策をより一層強化する必要があります。また、自主防災組織による活動や簡易型災害図上訓練（DIG）の実施、高齢者等要援護者の見守り体制の強化等、地域による防災力強化をより一層図る必要があります。

#### 達成目標の状況

項目	現状値(18年度)	実績値(22年度)	目標値(22年度)
防災リーダー研修への参加者数	750人	1,232人	800人
簡易型災害図上訓練(DIG)の実施支援回数	18回	27回	100回
災害時要援護者避難支援モデル事業実施数(累計)	－	10カ所	10カ所
避難勧告等の判断・伝達マニュアル(土砂災害編・洪水災害編)の作成	－	完了	完了
ハザードマップ(地震・洪水(南区・清田区))の作成・配布	－	完了(洪水)	完了
防災行政無線整備数(累計)	518基	818基	818基(21年度)
防災・危機管理情報伝達システムの整備方針策定	－	完了	完了
豊平川貯留管の整備進捗率(累計)	－	21%	35%
〔豊平川札幌地区河川防災ステーション〕 水防センター建設	－	工事完了	工事完了
緊急貯水槽の設置数(累計)	28カ所	33カ所	33カ所(21年度)
〔市有建築物耐震化推進事業〕耐震化に着手した施設数(累計)	4施設	63施設	64施設
〔区役所施設等〕耐震性能の強化(累計)	－	4施設	耐震補強実施
耐震性能が低い学校施設(5カ年計画対象施設)の耐震補強着手数(累計)	3校	48校	48校
耐震性能が低く老朽化が著しい学校施設(5カ年計画対象施設)の改築着手数(累計)	－	4校	4校

項目	現状値(18年度)	実績値(22年度)	目標値(22年度)
〔中央体育館改築〕整備計画策定と調査実施	－	調査、建設規模等の検討	計画策定と調査完了
〔中島体育センター〕耐震性能の強化	－	耐震補強実施	耐震補強実施(20年度)
大通バスセンター耐震化	－	完了(21年度)	完了(21年度)
大通バスセンターバリアフリー化	－	検討	完了
〔消防施設〕耐震性能の強化(累計)	－	1施設	耐震補強実施
耐震補強実施済橋りょう数(累計)	26橋(34.7%)	46橋(61.3%)	45橋(60%)
第1次緊急輸送道路における耐震補強実施済橋りょう数(累計)	11橋(68.8%)	15橋(93.8%)	16橋(100%)
供給ルートが全て耐震化されている札幌市災害時基幹病院数(累計)	－	12カ所	12カ所
重要なマンホール施設の耐震補強済箇所数(累計)	5カ所	27カ所	19カ所
汚泥圧送管二条化・ループ化整備率(累計)	62%	66%	66%
札幌市耐震改修促進計画の策定	検討	策定(19年度)	策定(19年度)
札幌市内の住宅の耐震化率	82.8%	測定不能	85.5%

## 政策目標5 文化の薫る、都市の魅力が輝き、にぎわう街

### ○重点課題1 札幌の特色を活かした文化芸術の振興

#### 施策の基本方針

豊かな自然、冷涼な気候、情報に鋭敏な感性、進取の気風からはぐくまれる札幌の特色を活かして、多様な文化芸術を享受できるまちづくりを目指し、市民が街のいたるところでさまざまな文化芸術を楽しみながら実践し、表現・発信できる環境づくりを行います。また、市民や企業、NPOなどのさまざまな文化芸術活動や相互の交流を促進するとともに、札幌の文化芸術の魅力を国内外に積極的に発信していきます。さらに、地域の優れた自然、文化、史跡などの文化遺産の保存と活用を推進するとともに、先住民族文化への市民理解の促進を図ります。

#### 重点課題における今後の展開（課題）

札幌の文化芸術の魅力を国内外に発信していくため、観光都市として文化芸術に市民が親しめる環境整備を図り、集客交流資源として広く活用していく必要があります。また、子どもたちを文化芸術の担い手として育成を図るため、体験活動の機会を継続的に提供していく必要があります。

#### 達成目標の状況

項目	現状値(18年度)	実績値(22年度)	目標値(22年度)
〔サッポロ・シティ・ジャズ〕イベント観客動員数	4,000人	80,921人	10万人
〔サッポロ・シティ・ジャズ〕市民ボランティア登録者数	—	146人	600人
〔サッポロ・シティ・ジャズ〕パークジャズライブ参加者数	65人	991人	3,000人
PMFで指導を受けるためのオーディション (オーケストラコース)応募者数	1,348人	1,363人	1,468人
〔札幌交響楽団市内〕公演への観客数	131,464人	121,353人	135,000人
〔さっぽろアートステージ〕鑑賞者数	341,898人	454,289人	36万人
〔カルチャーナイト事業〕本市の参加施設数	21施設	32施設	30施設
〔芸術の森ART BOX〕週末の施設利用率	57.4%	42.6%	60%
〔創成川アートワーク〕アートワークの設置	—	設置	設置
〔(仮称)SAPPOROアート&コミュニティセンター〕 文化芸術団体と地域との交流イベント数	1回	8回	4回
北海道厚生年金会館の存続	—	存続(20年度)	存続
〔観光文化情報ステーション〕来場者数	12,000人	70,678人	10万人
〔芸術文化情報発信〕ホームページのアクセス(接続)数	—	381,642回	20万回
〔札幌市文化芸術振興条例に基づく基本計画〕基本計画の策定	—	策定(20年度)	策定(20年度)

項目	現状値(18年度)	実績値(22年度)	目標値(22年度)
〔文化活動練習会場学校開放〕開放教室数	21教室	22教室	24教室
〔舞台芸術創作活動支援〕補助金申請団体数	11団体	21団体	21団体
〔佐藤忠良関連施設〕施設開設	－	開設(20年度)	開設(20年度)
〔子どもの美術体験〕参加児童数(累計)	－	12,019人	3,200人
〔子どもの映像制作体験〕参加者数(累計)	－	59人	50人
〔Kitaraファーストコンサート〕学校の参加率	94.2%	96.8%	95.0%以上
公文書館整備基本構想	－	策定(21年度)	策定(21年度)
都市景観重要建築物等の指定件数(累計)	18件	30件	30件
〔文化財施設維持保存〕補修工事等実施施設数	1施設	4施設	5施設
〔文化財施設維持保存〕保全改修計画の策定	3施設	5施設	7施設
〔博物館活動センター展示室整備〕展示室の整備	－	未整備	整備(20年度)
〔伝統文化保存伝承〕補助対象活動数	2件	2件	2件
アイヌ伝統文化の振興	－	振興	振興
札幌市アイヌ施策推進計画の策定	－	策定(22年度)	策定(21年度)

## 政策目標5 文化の薫る、都市の魅力が輝き、にぎわう街

### ○重点課題2 スポーツを楽しむ環境の充実と健康づくりの推進

#### 施策の基本方針

生涯にわたり、市民の誰もが気軽にスポーツを楽しむことができるよう、地域住民が主体となった地域スポーツクラブの育成など、多様な市民ニーズに合わせたスポーツを楽しむ環境づくりを進めるとともに、市民の健康づくりを支援します。また、冬季スポーツの拠点機能の充実を図り、札幌ならではの冬のスポーツの新たな楽しみ方を発信します。

#### 重点課題における今後の展開（課題）

気軽にスポーツに親しみ、健康づくりに活かすことができるよう地域スポーツの活性化や地域特性を活かしたウインタースポーツの振興を進めていく必要があります。

#### 達成目標の状況

項目	現状値(18年度)	実績値(22年度)	目標値(22年度)
〔中央体育館改築〕整備計画策定と調査実施	－	調査、建設規模等の検討	計画策定と調査完了
〔子ども体力向上〕運動教室数	モデル2教室	56教室	全市で100教室
〔子ども体力向上〕指導者の養成数(累計)	5人養成中	31人	50人
都市公園内のパークゴルフ場のコース数(累計)	47コース	52コース	52コース
〔厚別清掃工場跡地パークゴルフ場等整備〕パークゴルフ場	－	供用開始(21年度)	供用開始(21年度)
〔さっぽろスポーツキャラバン隊〕参加人数	－	8,739人	4,000人
総合型地域スポーツクラブの設立(累計)	1カ所	3カ所	5カ所
健康づくり応援企業・店舗数(累計)	1,227件	2,018件	2,000件
ウォーキング実践指導ボランティアの育成人数(累計)	－	224人	200人
〔豊平スポーツ・健康づくり応援〕スポーツイベント等参加者数	700人	1,150人	1,000人
〔豊平スポーツ・健康づくり応援〕ファイターズ、コンサドーレ応援イベント参加者数	2,000人	4,850人	5,000人
ウインタースポーツをする人の割合	13%	11.3%	20%
ウインタースポーツ体験事業数	2事業	33事業	20事業
〔ウインタースポーツミュージアム〕観覧者数	121,946人	64,145人	133,800人

## 政策目標5 文化の薫る、都市の魅力が輝き、にぎわう街

### ○重点課題3 将来を見据えた魅力ある都市の整備

#### 施策の基本方針

都市の持続的な発展を目指し、市民・企業・行政が一体となって、都心の魅力と活力を高めるために実効性のあるまちづくりを進めるとともに、市民の日常生活を支える地域の拠点を再整備し、道都にふさわしい風格のある街並みとにぎわいを創出します。また、公共交通機関を軸とした交通体系の確立を図り、人と環境を重視した快適で美しい街の実現を図ります。

#### 重点課題における今後の展開（課題）

少子高齢化が進展する中で、都市としての魅力を高め、市民生活の場としての地域の利便性を高めていく必要があります。また、都心の魅力と活力を高める施策を引き続き進めていく必要があります。

公共交通については、さらに快適で利用しやすい環境を創出するために、これまで以上に公共交通事業者相互の連携や市民との協働の取り組みの必要があります。

#### 達成目標の状況

項目	現状値(18年度)	実績値(22年度)	目標値(22年度)
都心まちづくり戦略の策定	検討	計画策定(22年度)	策定(19年度)
都心まちづくり会議の設置	検討	設置(21年度)	設置(19年度)
創世1.1.1区街づくり指針の策定	検討	策定(21年度)	策定(19年度)
北1西1・大通東1再開発基本計画の策定	検討	策定(19年度)	策定(19年度)
〔(仮称)市民交流複合施設整備〕施設基本計画の策定	検討	策定(20年度)	策定(20年度)
〔(仮称)市民交流複合施設整備〕施設実施方針の策定	－	策定(20年度)	策定(20年度)
〔北海道新幹線推進〕札幌延伸の早期事業化の推進	－	推進	推進
札幌駅交流拠点再整備構想の策定	－	検討	策定
サッポロ広場形成計画の策定	検討	検討	策定
新中心市街地活性化基本計画の策定	検討	認定調整	策定(20年度)
大通・駅前通地区まちづくり計画の策定	－	検討	検討
創世1.1.1区・札幌駅前周辺地区交通環境改善計画の策定	－	検討	事業化調整
地下歩行空間(地下歩道)の整備	工事中	供用開始	供用開始
〔札幌駅前通地下歩行空間活用推進検討〕関連条例の制定	検討	制定	制定
〔札幌駅前通地下歩行空間活用推進検討〕「にぎわい」がある空間の創出	検討	供用開始	供用準備完了
〔創成川通〕アンダーパス連続化	工事中	供用開始(20年度)	供用開始(20年度)
創成川通地上道路部分整備	工事中	完成	完成



項目	現状値(18年度)	実績値(22年度)	目標値(22年度)
都心部における水とみどりの空間	－	1.82ha	1.9ha
〔創成川アートワーク〕アートワークの設置	－	設置	設置
〔丘珠空港周辺のまちづくり〕緑地整備の推進	4.1ha	25.2ha	10ha
「まち本」等活用講座受講者数	127人	2,854人	500人
地区計画の決定、変更数(累計)	－	3地区	3地区
地域まちなみづくり推進制度の策定	検討	検討	策定(21年度)
〔苗穂駅周辺のまちづくり〕まちづくり推進プログラムの策定	検討	検討	策定
景観計画重点区域の指定及び既指定地区の基準等見直し	－	1地区	3地区
地域における景観まちづくりの展開(累計)	－	1地区	1地区
景観保全型広告整備地区の指定(大通地区)	協議	保留	指定(20年度)
景観保全型広告整備地区の指定(札幌駅前通地区)	協議	指定	指定
都市景観重要建築物等の指定件数(累計)	18件	30件	30件
栄町駅周辺交通環境整備計画の策定	検討	策定(19年度)	策定(19年度)
乗継施設等整備基本計画の見直し	検討	調整	策定
(仮称)自転車利用総合計画の策定	調査、検討	計画(案)策定	策定(21年度)
駐輪場附置義務条例の適用対象施設拡大	調査等	調査等	条例改正(21年度)
JR篠路駅西第2地区再開発事業	－	完了(21年度)	完了(21年度)
琴似4・2地区再開発事業	－	事業着手 (24年度完了予定)	完了
〔“ひかりの”元気の杜推進〕土地活用率(地区内において宅地建設など土地の利用が図られた割合)	19%	33%	30%
〔“ひかりの”元気の杜推進〕公園・緑地面積	1.4ha	6.3ha	10.0ha
ネットワークへの組み入れ箇所数	38カ所	41カ所	40カ所(19年度)
やすらぎ歩行空間プランの策定	－	策定	策定
交通体系マスタープラン策定	調査、検討	策定(21年度)	策定(20年度)
〔路面電車活用方針検討調査〕基本計画(案)の策定	検討	策定(21年度)	策定(21年度)
〔路面電車老朽車両の更新に伴う低床車両の導入〕低床車両の数	－	0両	1両
バス交通のあり方設定	検討	設定(21年度)	設定(21年度)
バス利用環境改善方策策定	検討	策定(20年度)	策定(20年度)

項 目	現状値(18年度)	実績値(22年度)	目標値(22年度)
利用者5,000人/日以上のJR駅バリアフリー化(累計)	9駅	15駅	12駅
ノンステップバスの導入台数(累計)	51台	101台	75台
JR白石駅自由通路の整備	—	供用開始	供用開始
地下鉄へのICカードの導入	—	導入(20年度)	導入(20年度)
[交通ICカードの導入と活用]ICカードの商業、行政利用との連携枠組み検討	—	検討(21年度)	検討(21年度)

## 政策目標5 文化の薫る、都市の魅力が輝き、にぎわう街

### ○重点課題4 新たな集客交流資源の創出と魅力の発信

#### 施策の基本方針

世界の集客交流都市さっぽろの実現を目指し、札幌の魅力である、食や自然、文化芸術などのハード・ソフトの資産を集客交流資源として積極的に活用し、札幌独自の魅力づくりや観光資源の発掘を行うとともに、受入対応を充実するなど、観光やコンベンションの一層の振興を図ります。また、道内各市町村とも連携して道内各地の食や観光などの情報を発信する拠点機能を充実するなど、集客交流を推進します。

#### 重点課題における今後の展開（課題）

東日本大震災の影響もあり、来札幌観光客は減少しており、既存の観光資源の魅力を高めるとともに、新たな観光資源の創出や活用のほか、対象者に合った戦略的な誘致活動を行う必要があります。また、全国的に誘致競争が激しくなっているMICE振興については、コンベンション誘致の経験を活かし先んじて国内外に働きかけを行うことが求められています。

#### 達成目標の状況

項目	現状値(18年度)	実績値(22年度)	目標値(22年度)
〔さっぽろ雪まつり魅力アップ〕参加団体数	9団体	15団体	15団体
雪まつりの満足度	57.7%	74.1%	70%
〔ライラックまつり魅力アップ〕観客数	346,700人	411,800人	500,000人
〔「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」〕来場者数	44.6万人	67.1万人	50万人
藻岩山の再整備	－	実施設計 建設工事	整備
定山溪の来客数	2,435千人	測定不能	－
定山溪の来客の満足度	82.6%	測定不能	－
〔新たな秋のイベント〕観客数	－	111万5千人	80万人
〔大通公園スケーティング・スクエア〕利用者数	－	11,395人	1万人
〔平岡公園・梅林〕梅開花時期の夜間入園者数	－	29,790人	17,600人
コミュニティガーデン設置数(累計)	－	37カ所	30カ所
花を活用した管理を行う道路残地箇所数(累計)	－	7カ所	10カ所
外国人観光客のリピーター率	25.4%	37.1%	30%
札幌観光の満足度(おもてなし)	69.5%	89.9%	75%
コンベンションの開催件数	911件	1,050件	1,050件
観光集客イベントの集客人数	7.1万人	87.5万人	7.5万人

項目	現状値(18年度)	実績値(22年度)	目標値(22年度)
コンベンション開催団体への訪問回数	501件	501件	620件
道外観光客の来客数	6,398千人	5,296千人	6,791千人
スイーツを楽しみにした観光客の増加	24.2%	16.2%	35%
外国人延べ宿泊者数	559,272人	797,515人	70万人
〔アジア学生交流〕市民交流事業等参加者数	－	479人	500人
サミットの支援	－	推進(20年度)	推進(20年度)
〔国際園芸博覧会構想の検討〕開催誘致の是非決定	－	決定(21年度)	決定(20年度)
〔都心部における北海道の魅力発信〕来場者数	－	574,079人	10万人
〔都心部における北海道の魅力発信〕 道内各地域からの出展者数	－	68件	50件
〔(仮称)札幌広域ドライブルートマップ作成〕 参画施設の入場者数の伸び率	－	－	1.5%アップ

### Ⅲ 成果指標の状況

重点課題	No	指標項目	現状値	実績値	傾向	目標値
<b>政策目標1 子どもを生き育てやすく、健やかにはぐくむ街</b>						
1-1 子どもを生き育てやすい環境づくり	<b>【市民意識・行動指標】</b>					
	1	子育てしやすいまちだと思ふ人の割合	43.3% (18年度)	54.6% (22年度)		60% (22年度)
	<b>【社会成果指標】</b>					
	2	札幌圏で育児休業を取得した人数	5,004人 (18年度)	9,763人 (22年度)	 到達	7,000人 (22年度)
	3	保育所待機児童数 ※( )内は、特定の保育所のみを希望し、入所していない児童を含めた数	212人 (531人) (19年度)	865人 (1,339人) (23年度)		0人 (23年度)
	4	新生児訪問指導を受ける人の割合	62.2% (17年度)	94.0% (22年度)		100% (22年度)
5	子育てサロンが開催されている地域の割合 (小学校区単位で見た場合)	86% (18年度)	92.0% (22年度)		100% (21年度)	
1-2 未来を担う子どもが健やかに育つ環境の充実	<b>【市民意識・行動指標】</b>					
	6	家庭などにおいて、自分の興味あることについて調べたり、勉強したりしている児童生徒の割合	51.5% (19年度)	51.5% (20年度)	-	100% (22年度)
	<b>【社会成果指標】</b>					
	7	地域への授業公開校の割合(小・中学校)	75.1% (18年度)	99.9% (22年度)		100% (22年度)
	8	小・中学校における地域人材の活用人数	10,259人 (18年度)	13,004人 (22年度)	 到達	12,000人 (22年度)
	9	不登校児童・生徒の出現率	1.09% (18年度)	1.23% (22年度)		1.0%未満 (22年度)
10	児童会館で行われている事業の参加者数	41万人 (18年度)	50万人 (22年度)	 到達	47万人 (22年度)	
<b>政策目標2 主体的な活動が生まれ、経済の活力みなぎる街</b>						
2-1 市民の主体的な地域づくりの支援	<b>【市民意識・行動指標】</b>					
	11	町内会、NPO、ボランティアなど市民まちづくり活動に参加経験のある人の割合	41.1% (18年度)	38.5% (22年度)		60% (22年度)
	12	コミュニティ組織(町内会など)の活動が盛んに行われていると思う市民の割合	57.8% (18年度)	57.6% (22年度)		70% (22年度)
	<b>【社会成果指標】</b>					
	13	NPO認証法人数(札幌市に主たる事務所を置くもの)	569団体 (18年度)	741団体 (22年度)		900団体 (22年度)
14	地域と創る冬みち事業に参画した町内会数	186 町内会 (18年度)	565 町内会 (22年度)	 到達	560 町内会 (22年度)	
2-2 札幌の経済を支える企業・人の支援	<b>【社会成果指標】</b>					
	15	中小企業向け融資制度の新規融資件数及び融資額	8,579件 1,095億円 (18年度)	9,292件 1,135億円 (22年度)	 到達	8,900件 1,109億円 (22年度)
	16	経営や起業に関する相談・アドバイス件数	4,034件 (18年度)	6,706件 (22年度)		8,000件 (22年度)
	17	展示会・商談会への参加企業数	166企業 (18年度)	374企業 (22年度)	 到達	300企業 (22年度)
18	雇用創出事業及びマッチングによる就職者数	4,441人 (18年度)	5,121人 (22年度)		6,000人 (22年度)	

重点課題	No	指標項目	現状値	実績値	傾向	目標値
<b>政策目標2 主体的な活動が生まれ、経済の活力みなぎる街</b>						
2-3 札幌らしい新産業の育成と企業の誘致	<b>【社会成果指標】</b>					
	19	スイーツ王国さっぽろ推進協議会への参画会員数	85件 (18年度)	155件 (22年度)		170件 (22年度)
	20	札幌スタイル認証製品数	56件 (18年度)	141件 (22年度)	 到達	100件 (22年度)
	21	取引可能な映像作品等の集積本数(累計)	1,500本 (18年度)	12,011本 (22年度)	 到達	10,000本 (22年度)
	22	大学の共同研究・受託研究実績	821件 (18年度)	937件 (22年度)		1,000件 (22年度)
23	IT・コンテンツ・バイオ企業及びコールセンター・ニュービジネスの誘致数	39件 (18年度)	73件 (22年度)		75件 (22年度)	
<b>政策目標3 高齢者・障がい者へのめくもりあふれる街</b>						
3-1 高齢者の地域生活支援の充実	<b>【市民意識・行動指標】</b>					
	24	週2回以上外出する高齢者の割合	78.2% (18年度)	82.8% (22年度)		85% (22年度)
	25	町内会やボランティア活動、老人クラブ活動をしている高齢者の割合	9.5% (18年度)	8.5% (22年度)		20% (22年度)
	<b>【社会成果指標】</b>					
	26	シニアサロンに参加している人数(箇所数)	9,021人 (6力所) (18年度)	22,750人 (11力所) (22年度)		48,000人 (20力所) (22年度)
	27	認知症サポーター養成数(累計)	1,862人 (18年度)	17,227人 (22年度)	 到達	9,000人 (22年度)
28	一般高齢者の介護予防事業への参加者数	41,228人 (18年度)	51,088人 (22年度)		58,500人 (22年度)	
29	転倒・骨折予防事業への参加者数	1,702人 (18年度)	16,984人 (22年度)	 到達	2,400人 (22年度)	
3-2 障がい者の自立支援の促進	<b>【市民意識・行動指標】</b>					
	30	まちのバリアフリー化が進んでいると感じる障がいのある人の割合	29.3% (19年度)	46.4% (22年度)		50% (22年度)
	31	まちのバリアフリー化が進んでいると感じる人の割合	39.9% (19年度)	41.7% (22年度)		60% (22年度)
	<b>【社会成果指標】</b>					
	32	入所施設の入所者の地域生活への移行者数(H19~22累計)	62人 (19年度)	274人 (~H22.9)		320人 (22年度)
33	入院中の精神障がい者の地域生活への移行者数(H19~22累計)	28人 (~H20.1)	166人 (~H22.3)		264人 (22年度)	
34	福祉施設から一般就労への移行者数	22人 (17年度)	182人 (22年度)	 到達	87人 (22年度)	

重点課題	No	指標項目	現状値	実績値	傾向	目標値
<b>政策目標4 安全・安心で、人と環境にやさしい街</b>						
4-1 水とみどりの保 全・育成と創出	<b>【市民意識・行動指標】</b>					
	35	身近なみどりの満足度	62.1% (19年度)	68.1% (22年度)	到達	50% (22年度)
	36	地域の緑化活動への参加意識	62.7% (19年度)	61.7% (22年度)	到達	50% (22年度)
	<b>【社会成果指標】</b>					
	37	河川の水環境目標値(環境基準)の達成率	100% (18年度)	100% (22年度)		100% (22年度)
	38	みどりに関わるボランティア登録団体数	50団体 (18年度)	122団体 (22年度)	到達	100団体 (22年度)
4-2 地球環境問題へ の対応と循環型 社会の構築	<b>【社会成果指標】</b>					
	39	市民の省エネ・省資源行動指標 (省エネ・省資源を実践したことによるCO <sub>2</sub> 削減量)	6万t (19年度)	10.8万t (21年度)	到達	10万t (22年度)
	40	市内における新エネルギー・省エネルギー機器導入によるCO <sub>2</sub> 削減量	13,000t (18年度)	50,000t (22年度)		55,000t (22年度)
	41	廃棄ごみ量(平成16年度対比)	6%減量 (18年度)	40.0%減量 (22年度)	到達	20%減量 (22年度)
	42	環境に配慮している事業者数	776件 (18年度)	2,181件 (22年度)	到達	2,000件 (22年度)
4-3 日常の身近な 暮らしの安心の 確保	<b>【市民意識・行動指標】</b>					
	43	日常生活において、身近な犯罪に対する不安感を抱いている市民の割合	72.9% (18年度)	57.8% (22年度)	到達	60% (22年度)
	<b>【社会成果指標】</b>					
	44	人口1万人当たりの火災発生件数(出火率)	4.2件 (18年度)	3.3件 (22年度)	到達	4.0件 (22年度)
	45	地域防犯活動に参加している人の割合	12.9% (18年度)	20.4% (22年度)	到達	17% (22年度)
	46	救命講習の受講人員	19万人 (18年度)	30万人 (22年度)	到達	29万人 (22年度)
4-4 災害に強い安全 なまちの整備	<b>【社会成果指標】</b>					
	47	自主防災組織の結成率	86.6% (18年度)	89.1% (22年度)		90% (22年度)
	48	簡易型災害図上訓練(DIG)に参加した人数	1,063人 (18年度)	929人 (22年度)		2,500人 (22年度)
	49	第1次緊急輸送道路における橋りょうの耐震化率	68.8% (18年度)	93.8% (22年度)		100% (22年度)
	50	札幌市内の住宅の耐震化率	82.8% (18年度)	-	-	85.5% (22年度)

重点課題	No	指標項目	現状値	実績値	傾向	目標値
<b>政策目標5 文化の薫る、都市の魅力が輝き、にぎわう街</b>						
5-1 札幌の特色を活かした文化芸術の振興	<b>【社会成果指標】</b>					
	51	主要文化芸術施設(芸術の森・札幌コンサートホール・教育文化会館など)の利用者数	150万人 (18年度)	197万人 (22年度)	↑ 到達	180万人 (22年度)
	52	市内主要イベント(PMF、札幌交響楽団公演、サッポロ・シティ・ジャズ、アートステージ)の観客者数	52万人 (18年度)	66万人 (22年度)	↑ 到達	65万人 (22年度)
	53	主要文化財施設(時計台、豊平館、清華亭など)の利用者数	28万人 (18年度)	27万人 (22年度)	↓	30万人 (22年度)
	54	文化芸術に関するボランティア数(サッポロ・シティ・ジャズ、キタラ、PMFなど)	159人 (18年度)	293人 (22年度)	↑	500人 (22年度)
5-2 スポーツを楽しむ環境の充実と健康づくりの推進	<b>【市民意識・行動指標】</b>					
	55	週に1回以上スポーツ(運動)を実施する人の割合(成人)	30.5% (18年度)	35.4% (22年度)	↑	50% (22年度)
	56	直接スポーツ観戦をする人の割合	46.8% (18年度)	42.8% (22年度)	↓	60% (22年度)
	57	自分の健康状態をふつう以上と感じる人の割合(成人)	77.8% (18年度)	77.0% (22年度)	→	85% (22年度)
	<b>【社会成果指標】</b>					
58	健康づくり応援企業・店舗数	1,227件 (18年度)	2,015件 (22年度)	↑ 到達	2,000件 (22年度)	
5-3 将来を見据えた魅力ある都市の整備	<b>【市民意識・行動指標】</b>					
	59	札幌の都心に「にぎわい」があると感じる人の割合	64.7% (18年度)	63.0% (22年度)	↓	75% (22年度)
	60	住んでいる地域の住環境(街並み)に満足している人の割合	53.4% (18年度)	55.7% (22年度)	↑	65% (22年度)
	61	公共交通に対する満足度	42.3% (18年度)	45.0% (22年度)	↑	50% (22年度)
	<b>【社会成果指標】</b>					
62	公共交通の利用者数	109万人 (18年度)	107万人 (22年度)	↓	110万人 (22年度)	
5-4 新たな集客交流資源の創出と魅力の発信	<b>【市民意識・行動指標】</b>					
	63	観光地としての総合満足度	84.7% (18年度)	94.7% (22年度)	↑ 到達	90% (22年度)
	<b>【社会成果指標】</b>					
	64	年間来客数	1,410万人 (18年度)	1,260万人 (22年度)	↓	1,500万人 (22年度)
	65	外国人延べ宿泊者数	559,272人 (18年度)	797,515人 (22年度)	↑ 到達	70万人 (22年度)
66	札幌市内での総観光消費額	4,776億円 (16年度)	3,689億円 (22年度)	↓	5,500億円 (21年度)	



#### IV 主な施設、サービス水準の状況

設備（サービス）名	計画事業量 (19~22年度)	整備水準			備 考
		18年度末	22年度末	22年度末目標	
政策目標1 子どもを生み育てやすく、健やかにはぐくむ街					
認可保育所	新規 1,020人	16,730人	19,008人	17,750人	整備翌年度の定員数を示す
延長保育事業	新規 26カ所	146カ所	175カ所	172カ所	
一時保育事業	新規 20カ所	63カ所	92カ所	83カ所	
休日保育事業	新規 2カ所	1カ所	3カ所	3カ所	
乳幼児健康支援デイサービス事業	新規 1カ所	4カ所	5カ所	5カ所	H19:1カ所増 定員:16人⇒20人 (現名称:病後児デイサービス事業)
妊婦一般健康診査	公費負担拡大	1回	14回	5回	H19に制度開始
乳幼児医療費助成	助成拡充	4歳以上 課税世帯1割負担	就学前まで原則無 料化小学生の入院 医療費を対象	就学前まで 原則無料化	H20に拡充
新生児訪問指導	対象拡大	第1子、必要と判断 される第2子以降	全出生児	全出生児	H19に拡充
不妊治療費助成	助成拡充	上限10万円を年1回 所得制限650万円未満	上限15万円を年2回 所得制限730万円未満	上限10万円を年2回 所得制限730万円未満	H19に拡充
区保育・子育て支援センター	新設 3カ所	3カ所	6カ所	6カ所	H19:東 H21:清田(認定こども園) H22:白石
外国語指導助手	新規配置	43人	58人	58人	中学校・高等学校に配置
学校図書館地域開放	新規 12校	87校	99校	99校	毎年3校増
奨学金(高校・大学生)	対象拡大	456人	1,307人	1,000人	毎年180人拡大 定時制・障がい枠の新設
児童家庭支援センター事業	新規 2カ所	2カ所	4カ所	4カ所	
スクールカウンセラー	相談拡充	小学: - 中学:週6時間	小学:月4時間 中学:週8時間	小学:月4時間 中学:週8時間	H19に小学校に拡充
児童クラブなどの障がい児受入	体制拡充	2人以上で 指導員加配、助成	1人以上で 指導員加配、助成	1人以上で 指導員加配、助成	H19に拡充
特別支援教育巡回相談員	新規配置	3人	10人	10人	H19に拡充
地域小規模児童養護施設	新設 1カ所	-	1カ所	1カ所	
児童会館の中・高校生の利用促進	時間延長	20館	103館	104館	21時まで(中学生は19時まで)
ミニ児童会館	新設 30館	40館	68館	70館	

設備（サービス）名	計画事業量 (19~22年度)	整備水準			備考
		18年度末	22年度末	22年度末目標	
<b>政策目標2 主体的な活動が生まれ、経済の活力みなぎる街</b>					
地区センター	新設 1館	23館	24館	24館	H20.4に開設 里塚・美しが丘地区センター
<b>政策目標3 高齢者・障がい者へのぬくもりあふれる街</b>					
敬老優待乗車証	利用限度額拡大	5万円	7万円	7万円	H21に拡大
高齢者向け優良賃貸住宅	新規 200戸	147戸	197戸	347戸	整備水準は着工ベース
地域包括支援センター (介護・健康何でも相談センター)	新設 4カ所	17カ所	21カ所	21カ所	H22.4に4カ所増
特別養護老人ホーム	新設 8カ所	47カ所	57カ所	55カ所	
障がい者グループホーム等	新設 104カ所	164カ所	293カ所	268カ所	定員 870人⇒1,498人
障がい者相談支援事業	新規 13カ所	相談支援:10カ所 住宅支援:0カ所	相談支援:16カ所 住宅支援:17カ所	相談支援:16カ所 住宅支援:7カ所	
障がい児等療育支援事業	新規 3カ所	5カ所	6カ所	8カ所	
障がい者協働事業	新規 7カ所	3カ所	10カ所	10カ所	
地下鉄駅エレベーター等設置	新設 4駅	43駅	47駅	47駅	南郷7丁目、北18条、北12条、 バスセンター前駅
地下鉄駅施設のバリアフリー化	整備 27駅	22駅	49駅	49駅	視覚障がい者誘導ブロック等
<b>政策目標4 安全・安心で、人と環境にやさしい街</b>					
防災行政無線	整備 300基	518基	818基	818基	
地下鉄可動式ホーム柵設置	新設 19駅	-	19駅	19駅	H20に東西線全駅に設置
救急隊	新規 1隊	30隊	31隊	31隊	H19:1隊増(東区札苗地区)
<b>政策目標5 文化の薫る、都市の魅力が輝き、にぎわう街</b>					
文化活動練習会場学校開放	新規 3教室	21教室	22教室	24教室	既存開放16校に教室増
都市公園のパークゴルフ場	新設 5コース	47コース	52コース	52コース	都市公園(ほか)厚別清掃工場跡地、 民間等で5コース整備

注：備考欄中の「○⇒○」は、18年度末と22年度末の整備水準等の実績値を示している。